



# 2026年7月3日の電力需給

## 全国

△ 全国合計需要ピーク  
**11,337万kW**  
14時、113,368 MW (10  
エリア同時刻合計)

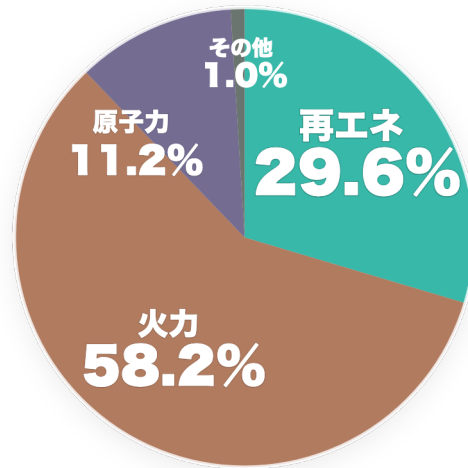
≒ 風力ピーク  
**89万kW**  
0時、891 MW

↔ 最大受電エリア  
**東京**  
98.1 GWh

☀ 太陽光ピーク  
**3,994万kW**  
11時30分、39,942  
MW (自家消費分除く)

◇ 再エネ最大需要  
比  
**49.6%**  
12時、需要に対する割合

↔ 最大送電エリア  
**東北**  
66.2 GWh



## 概況

再エネ比率トップ

**北海道 45.7%**  
35.0 GWh

揚水・蓄電の充電

**35.2 GWh**  
発電構成比には含めない

出力抑制量

**0.0 GWh**  
最大: 中部 0.0 GWh

日中の特徴

**太陽光と夕方需要の時間差**  
多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、14:30に3,549万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで45.7%でした。
- 出力抑制は中部。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	<b>29.6%</b>	発電電力量ベース
再エネ発電量	<b>682 GWh</b>	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	<b>2,304 GWh</b>	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	<b>49.6%</b>	12時
出力抑制量	<b>0.0 GWh</b>	最大: 中部
揚水・蓄電の充電	<b>35.2 GWh</b>	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	<b>45.7%</b>	<b>35.0</b>	<b>0.0</b>	送電 <b>3.9</b>
東北	<b>33.5%</b>	<b>89.4</b>	<b>0.0</b>	送電 <b>66.2</b>
東京	<b>17.6%</b>	<b>111</b>	<b>0.0</b>	受電 <b>98.1</b>
中部	<b>37.9%</b>	<b>123</b>	<b>0.0</b>	受電 <b>48.1</b>
北陸	<b>44.0%</b>	<b>33.7</b>	<b>0.0</b>	送電 <b>5.6</b>
関西	<b>26.9%</b>	<b>95.1</b>	<b>0.0</b>	受電 <b>36.2</b>
中国	<b>35.4%</b>	<b>63.8</b>	<b>0.0</b>	送電 <b>26.0</b>
四国	<b>34.5%</b>	<b>40.3</b>	<b>0.0</b>	送電 <b>46.6</b>
九州	<b>35.0%</b>	<b>87.8</b>	<b>0.0</b>	送電 <b>13.8</b>
沖縄	<b>11.3%</b>	<b>3.5</b>	<b>0.0</b>	—

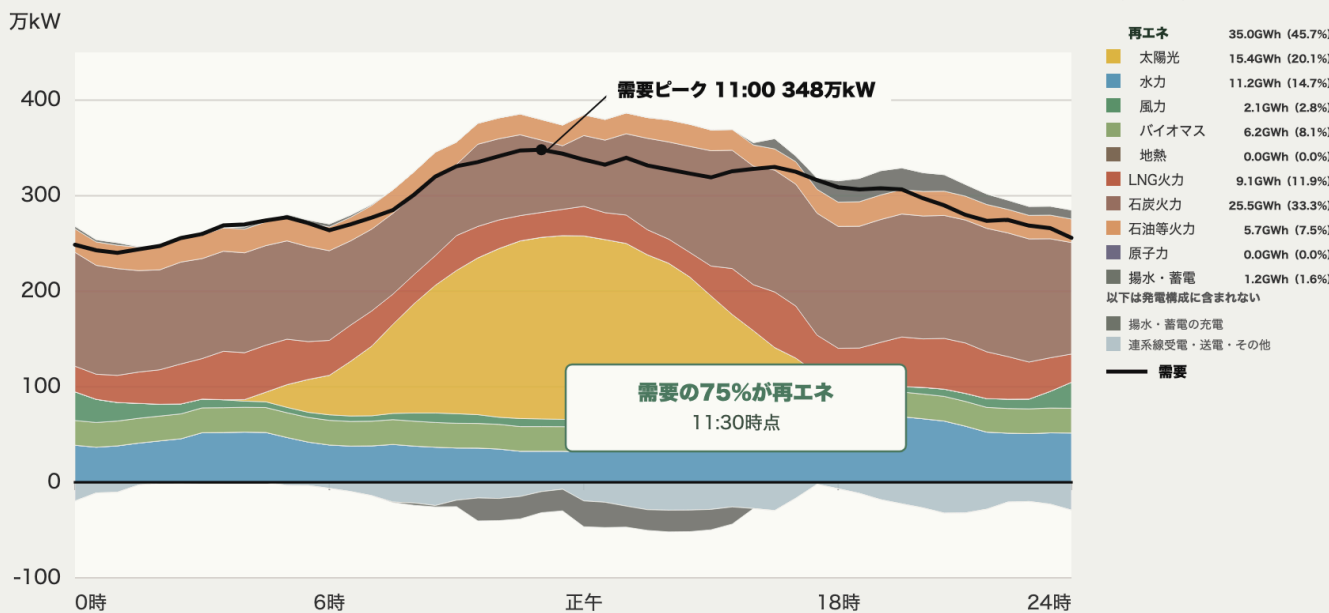


2026年7月3日の供給実績

## 北海道エリア

再エネ  
**35.0GWh**  
(発電電力量ベース45.7%)

### 北海道エリア 2026年7月3日の供給実績 (残余需要方式)



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量  
**76.6GWh**

需要ピーク  
**11:00、348万kW**

連系線・その他  
**3.9GWhの送電**

揚水・蓄電の充電  
**1.6GWh**

出力抑制  
**0.0GWh**

### 概況

北海道は、太陽光ピーク192万kW、風力ピーク30万kWで、時間別の再エネ最大需要比は76.4%だった。



2026年7月3日の供給実績

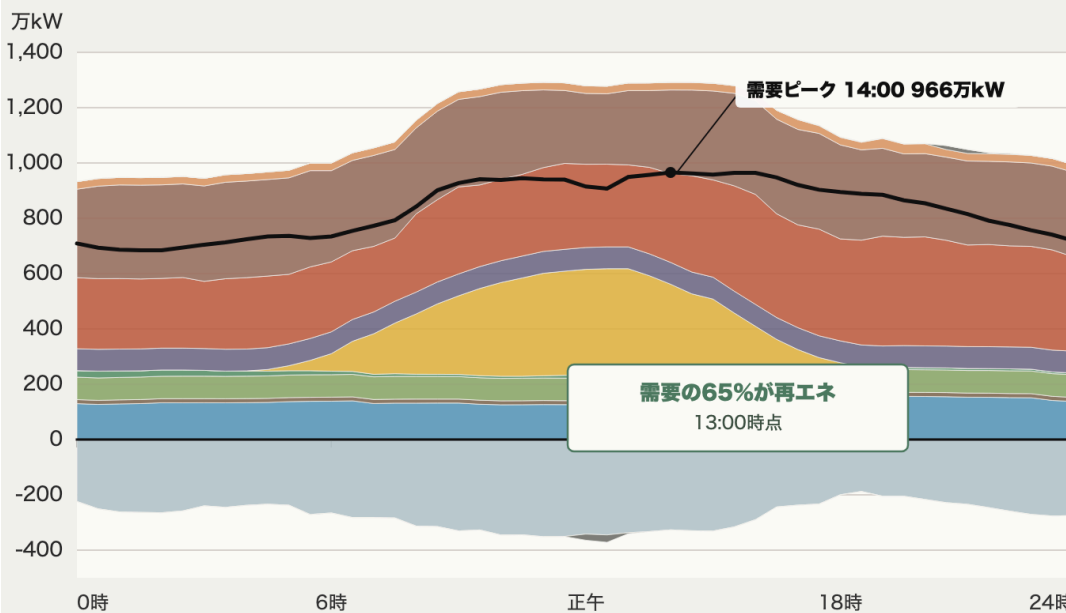
## 東北エリア

再エネ

89.4GWh

(発電電力量ベース33.5%)

### 東北エリア 2026年7月3日の供給実績 (残余需要方式)



#### 発電構成比

総発電電力量: 267GWh  
(2,667万kWh)

再エネ	89.4GWh (33.5%)
太陽光	30.0GWh (11.3%)
水力	33.3GWh (12.5%)
風力	3.0GWh (1.1%)
バイオマス	19.6GWh (7.4%)
地熱	3.5GWh (1.3%)
LNG火力	75.2GWh (28.2%)
石炭火力	76.2GWh (28.6%)
石油等火力	6.8GWh (2.5%)
原子力	19.0GWh (7.1%)
揚水・蓄電	0.2GWh (0.1%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

266.7GWh

需要ピーク

14:00、966万kW

連系線・その他

66.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.3GWh

出力抑制

0.0GWh

### 概況

東北は、太陽光ピーク385万kW、風力ピーク24万kWで、時間別の再エネ最大需要比は68.1%だった。



2026年7月3日の供給実績

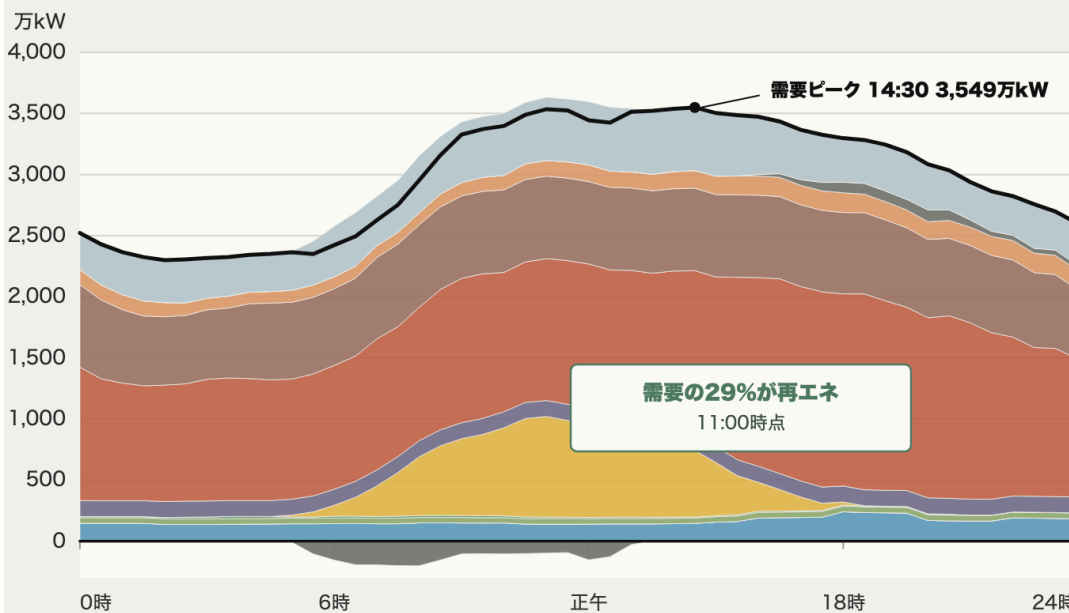
## 東京エリア

再エネ

110.5GWh

(発電電力量ベース17.6%)

### 東京エリア 2026年7月3日の供給実績 (残余需要方式)



#### 発電構成比

総発電電力量: 626GWh  
(6,262万kWh)

再エネ	110.5GWh (17.6%)
太陽光	58.5GWh (9.4%)
水力	38.6GWh (6.2%)
風力	2.4GWh (0.4%)
バイオマス	10.9GWh (1.7%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	293.8GWh (46.9%)
石炭火力	154.6GWh (24.7%)
石油等火力	31.1GWh (5.0%)
原子力	31.4GWh (5.0%)
揚水・蓄電	4.8GWh (0.8%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

626.2GWh

需要ピーク

14:30、3,549万kW

連系線・その他

98.1GWhの受電

揚水・蓄電の充電

10.6GWh

出力抑制

0.0GWh

### 概況

東京は、太陽光ピーク824万kW、風力ピーク17万kWで、時間別の再エネ最大需要比は28.9%だった。

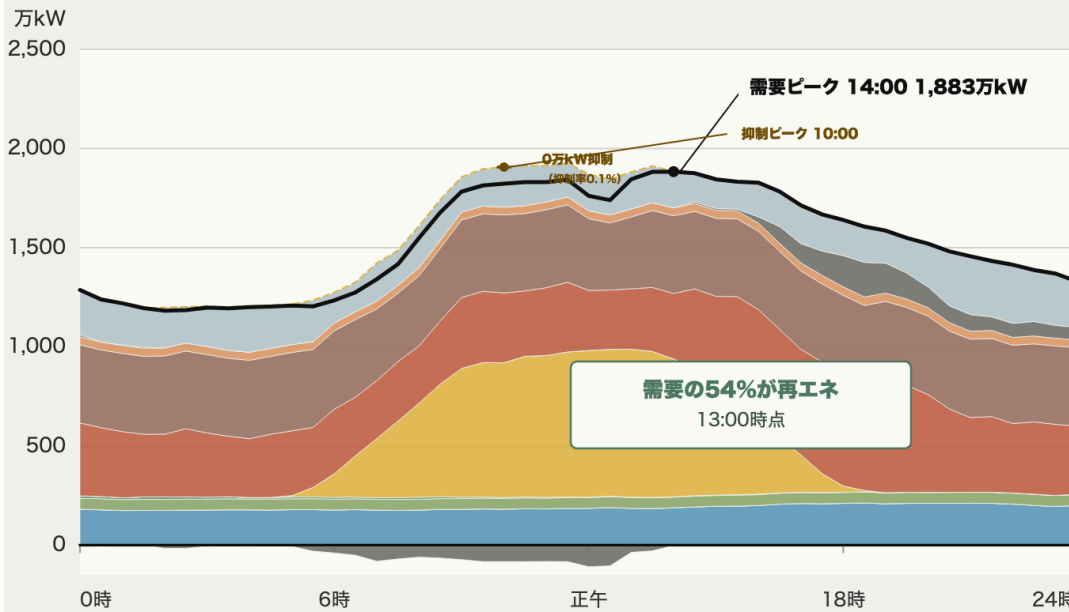


2026年7月3日の供給実績

## 中部エリア

再エネ  
**123.0GWh**  
(発電電力量ベース37.9%)

### 中部エリア 2026年7月3日の供給実績 (残余需要方式)



#### 発電構成比

総発電電力量: 325GWh  
(3,248万kWh)

再エネ	123.0GWh (37.9%)
太陽光	63.1GWh (19.4%)
水力	45.5GWh (14.0%)
風力	1.2GWh (0.4%)
バイオマス	13.2GWh (4.0%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	91.1GWh (28.0%)
石炭火力	93.1GWh (28.6%)
石油等火力	9.7GWh (3.0%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	8.0GWh (2.5%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

#### 出力抑制量 0.0GWh

抑制率=出力抑制量/(発電量+出力抑制量)  
出力抑制量: 出力抑制により発電しなかった量

出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

#### 総発電電力量

**324.9GWh**

#### 需要ピーク

**14:00、1,883万kW**

#### 連系線・その他

**48.1GWhの受電**

#### 揚水・蓄電の充電

**6.2GWh**

#### 出力抑制

**0.0GWh**

### 概況

中部は、太陽光ピーク747万kW、風力ピーク13万kWで、時間別の再エネ最大需要比は56.7%だった。



2026年7月3日の供給実績

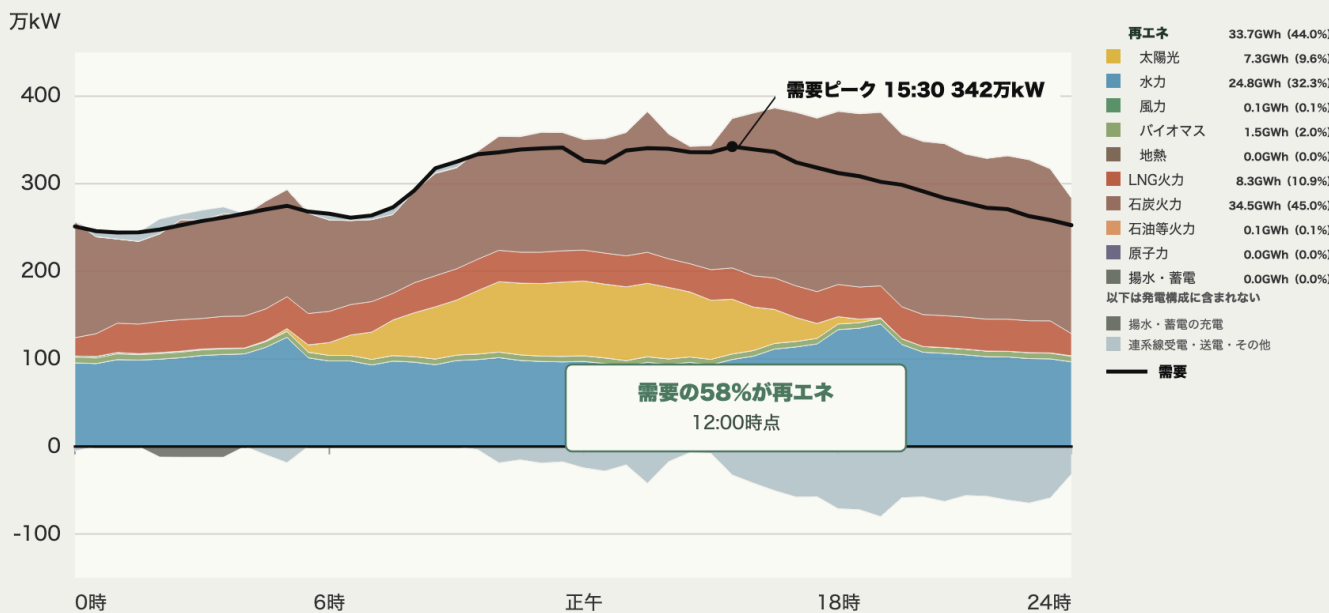
## 北陸エリア

再エネ

33.7GWh

(発電電力量ベース44.0%)

### 北陸エリア 2026年7月3日の供給実績 (残余需要方式)



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

76.7GWh

需要ピーク

15:30、342万kW

連系線・その他

6.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.2GWh

出力抑制

0.0GWh

### 概況

北陸は、太陽光ピーク85万kW、風力ピーク2万kWで、時間別の再エネ最大需要比は57.9%だった。



2026年7月3日の供給実績

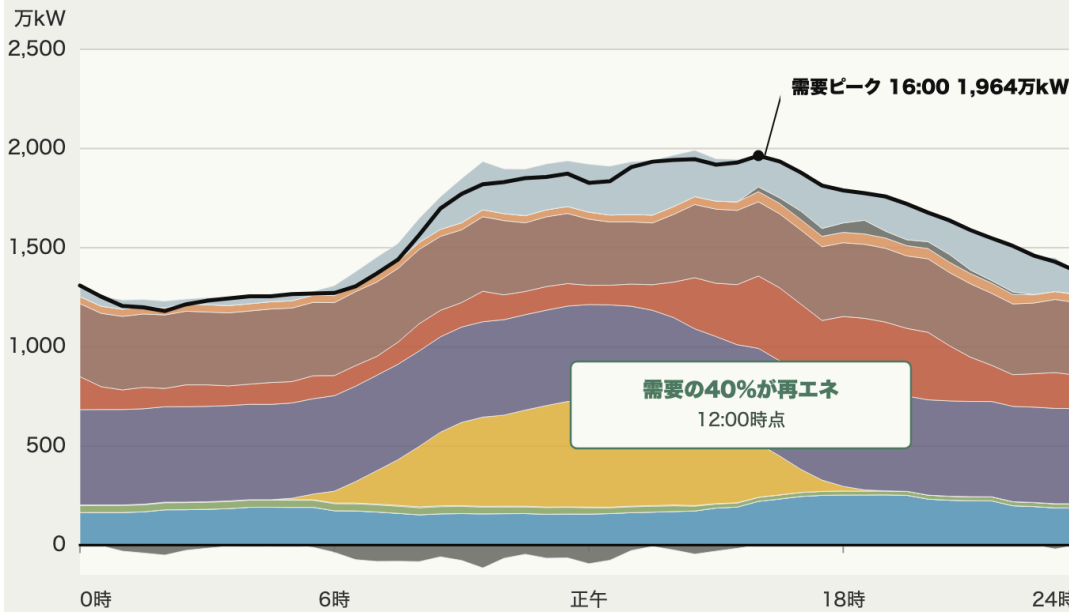
## 関西エリア

再エネ

95.1GWh

(発電電力量ベース26.9%)

### 関西エリア 2026年7月3日の供給実績 (残余需要方式)



#### 発電構成比

総発電電力量: 354GWh  
(3,539万kWh)

再エネ	95.1GWh (26.9%)
太陽光	42.3GWh (12.0%)
水力	45.3GWh (12.8%)
風力	0.5GWh (0.2%)
バイオマス	6.9GWh (2.0%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	44.0GWh (12.4%)
石炭火力	87.3GWh (24.7%)
石油等火力	9.8GWh (2.8%)
原子力	115.4GWh (32.6%)
揚水・蓄電	2.2GWh (0.6%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
需要	

出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

#### 総発電電力量

353.9GWh

#### 需要ピーク

16:00、1,964万kW

#### 連系線・その他

36.2GWhの受電

#### 揚水・蓄電の充電

7.0GWh

#### 出力抑制

0.0GWh

### 概況

関西は、太陽光ピーク540万kW、風力ピーク5万kWで、時間別の再エネ最大需要比は40.1%だった。



2026年7月3日の供給実績

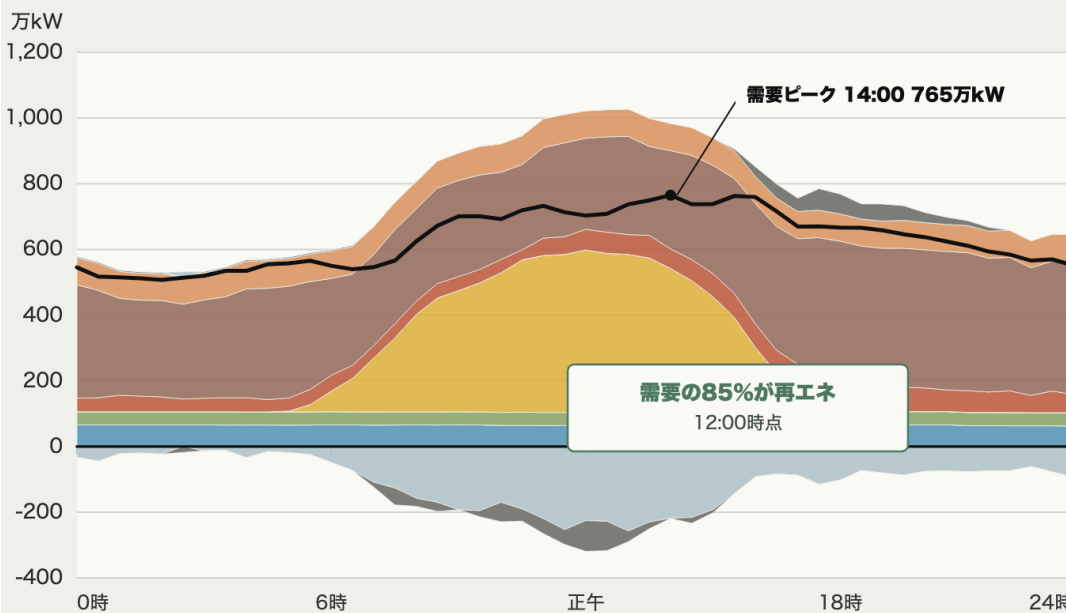
## 中国エリア

再エネ

63.8GWh

(発電電力量ベース35.4%)

### 中国エリア 2026年7月3日の供給実績 (残余需要方式)



#### 発電構成比

総発電電力量: 180GWh  
(1,801万kWh)

再エネ	63.8GWh (35.4%)
太陽光	38.5GWh (21.4%)
水力	15.6GWh (8.7%)
風力	0.0GWh (0.0%)
バイオマス	9.6GWh (5.3%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	13.2GWh (7.3%)
石炭火力	80.4GWh (44.6%)
石油等火力	20.1GWh (11.2%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	2.6GWh (1.5%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
—	需要

出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

180.1GWh

需要ピーク

14:00、765万kW

連系線・その他

26.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電

3.0GWh

出力抑制

0.0GWh

### 概況

中国は、太陽光ピーク494万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は85.1%だった。



2026年7月3日の供給実績

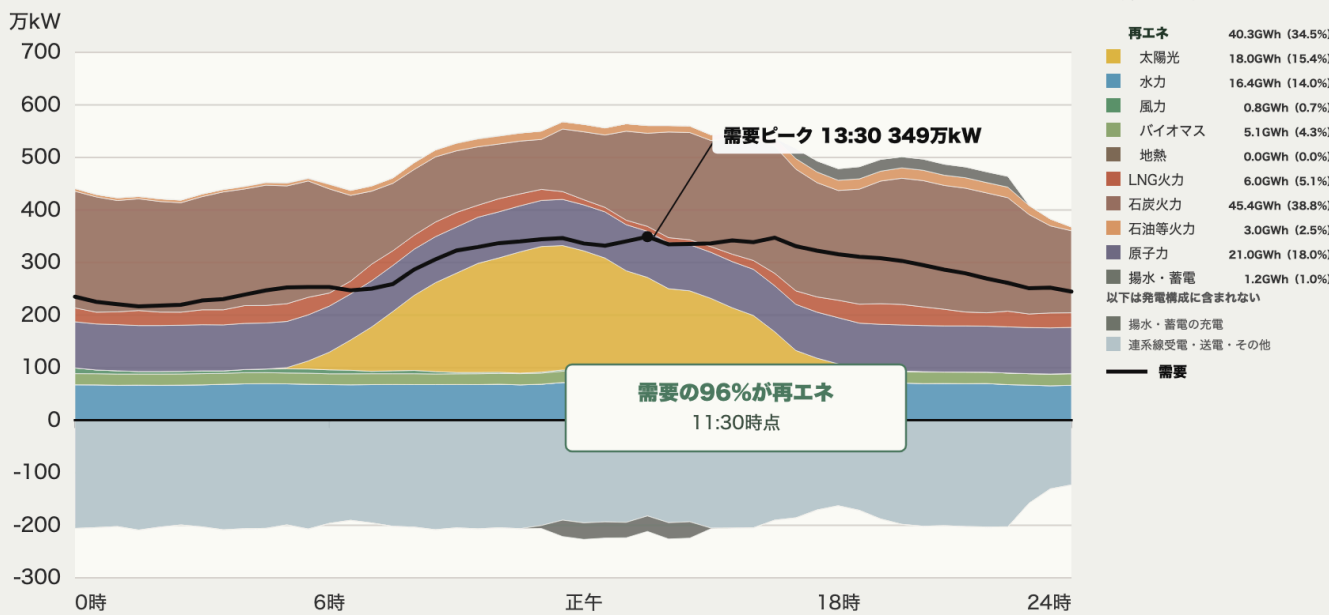
## 四国エリア

再エネ

40.3GWh

(発電電力量ベース34.5%)

### 四国エリア 2026年7月3日の供給実績 (残余需要方式)



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

116.9GWh

需要ピーク

13:30、349万kW

連系線・その他

46.6GWhの送電

揚水・蓄電の充電

1.1GWh

出力抑制

0.0GWh

### 概況

四国は、太陽光ピーク239万kW、風力ピーク11万kWで、時間別の再エネ最大需要比は96.0%だった。



2026年7月3日の供給実績

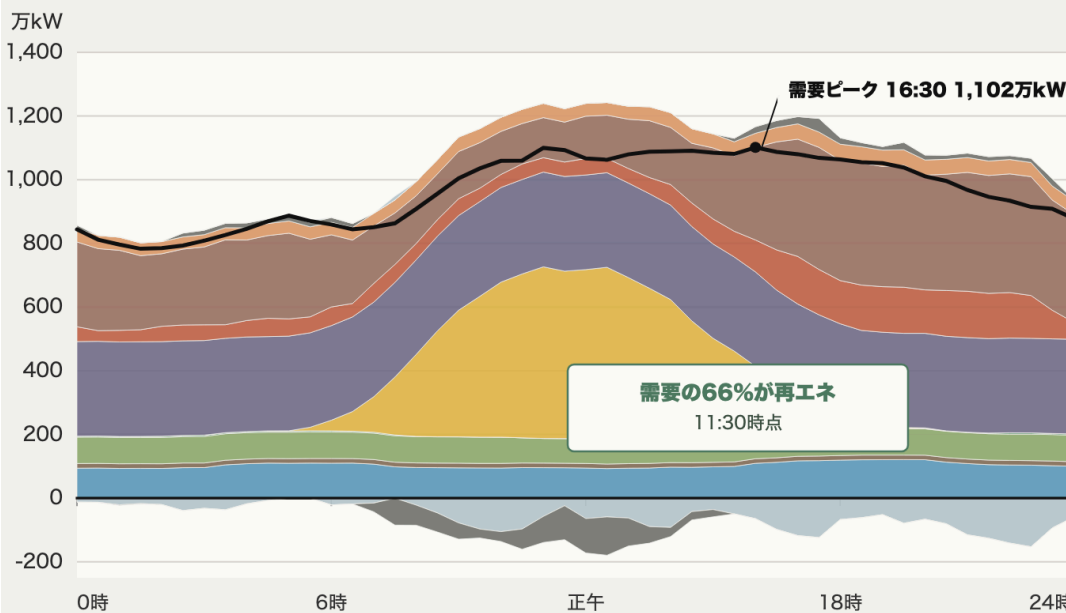
## 九州エリア

再エネ

87.8GWh

(発電電力量ベース35.0%)

### 九州エリア 2026年7月3日の供給実績 (残余需要方式)



#### 発電構成比

総発電電力量: 251GWh  
(2,507万kWh)

再エネ	87.8GWh (35.0%)
太陽光	39.5GWh (15.7%)
水力	24.8GWh (9.9%)
風力	0.4GWh (0.2%)
バイオマス	19.7GWh (7.8%)
地熱	3.4GWh (1.4%)
LNG火力	18.6GWh (7.4%)
石炭火力	60.5GWh (24.1%)
石油等火力	10.4GWh (4.1%)
原子力	71.2GWh (28.4%)
揚水・蓄電	2.2GWh (0.9%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	
— 需要	

出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

250.7GWh

需要ピーク

16:30、1,102万kW

連系線・その他

13.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電

5.2GWh

出力抑制

0.0GWh

### 概況

九州は、太陽光ピーク541万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は68.2%だった。



2026年7月3日の供給実績

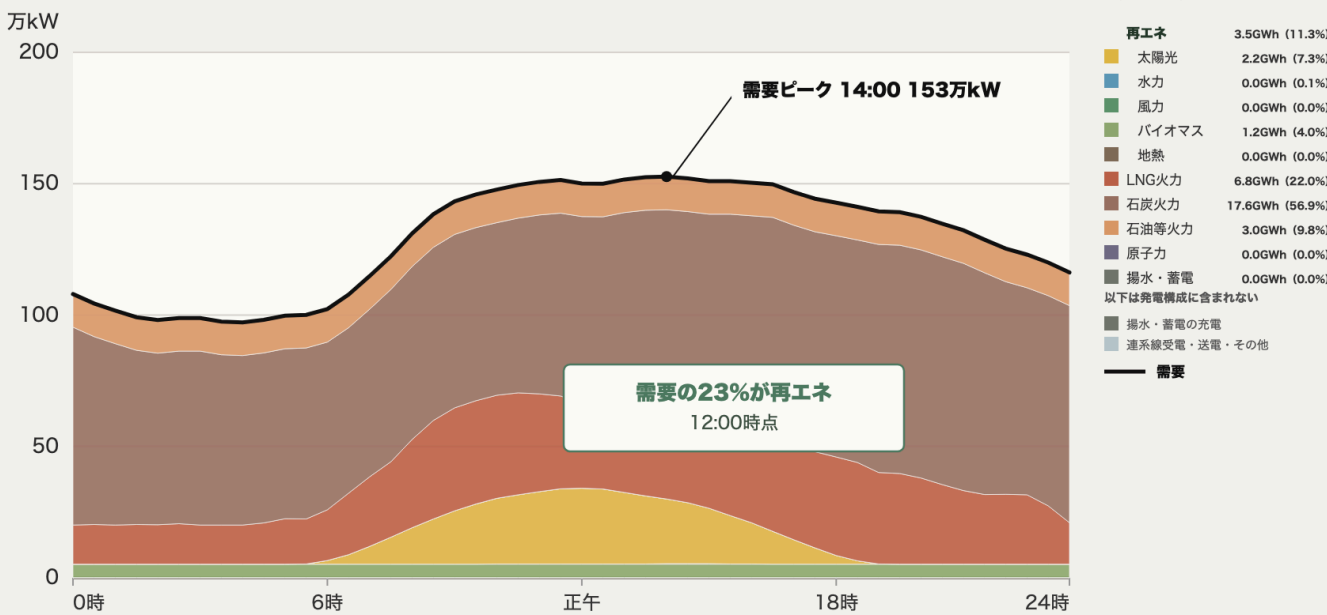
## 沖縄エリア

再エネ

3.5GWh

(発電電力量ベース11.3%)

### 沖縄エリア 2026年7月3日の供給実績 (残余需要方式)



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ (2026年7月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

30.9GWh

需要ピーク

14:00、153万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

### 概況

沖縄は、太陽光ピーク29万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は22.7%だった。